梅暦 春色辰巳園 巻の九

絵與

第五條

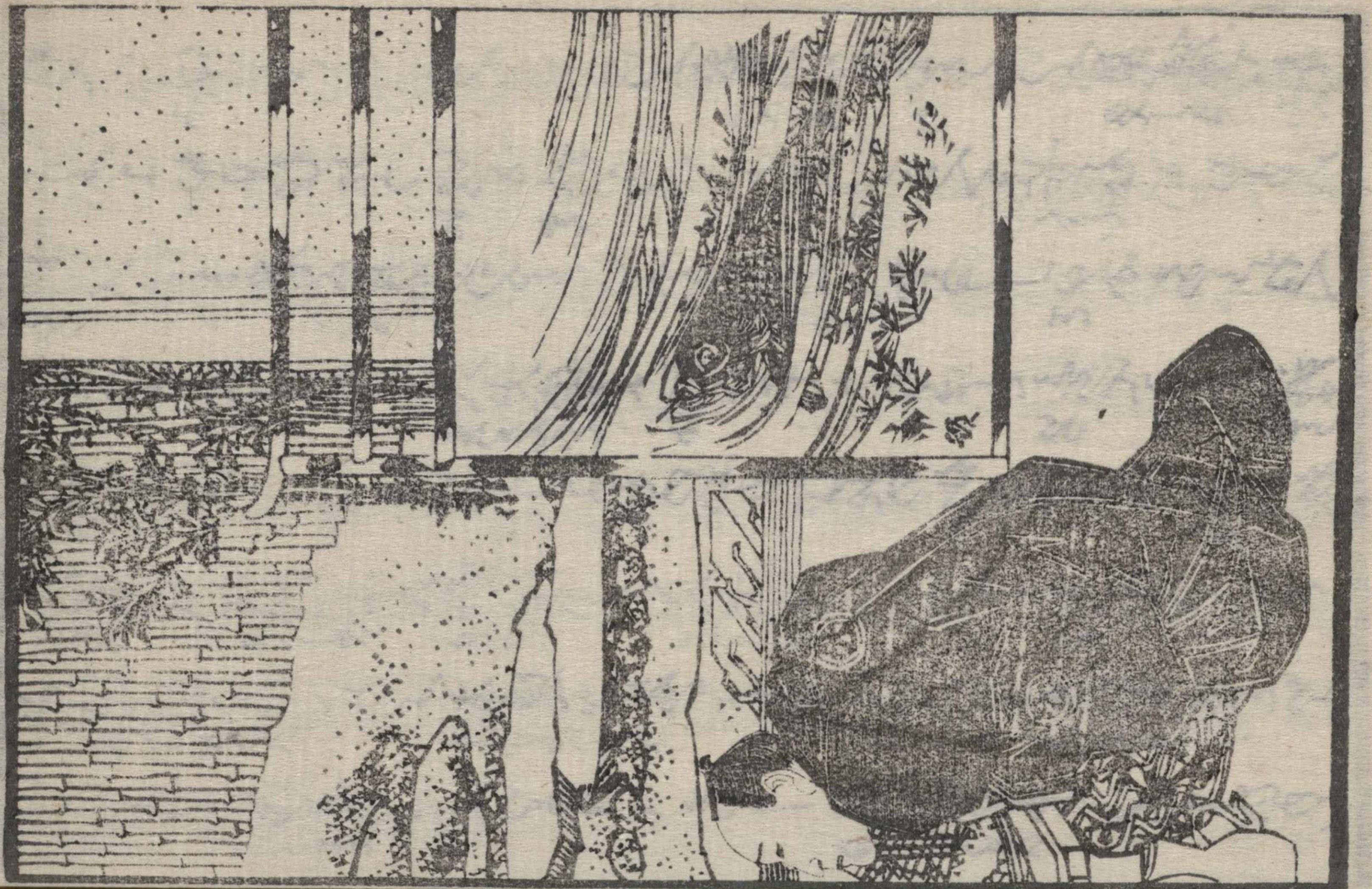
江戸 狂訓亭主人 著

やぢさんくらいの年ごろ八ツ半過ぎと
今夜のヨミ堪忍しくれ私がつとめの
猶哀そうに実にこまるわいな
サアト猶予ばかりしてゐやアがつて
世のまをえのぞといぜ

トヲ　ヲ　ヒヲ　ヒヲ　ヒ

まそうそんハイ丹ハイどうぞ
ありがとうございます
ハイ丹ハイ
ハイ丹ハイ
ハイ丹ハイ

みなぎまで通帳
くまうらうんでも今回ぶ
にやうんでくすぐらうまでぶ
おまのさーがありとがるふてまるく　新ハテナ奥さん
ぶ当るの願故ぶまくくざうふてまるく　新ハテナ奥さん
只今ぶ当るの願故ぶまくくざうふてまるく　新ハテナ奥さん
多人やまぐ故ぶまくくざうふてまるく　新ハテナ奥さん
稲波原の小湊福田やの民治郎ト云て



通客ちん新考と人情をうつす

へン楚満人改狂刻真の犯者もの〳〵アヽ
あんぞとの
七兵実「新
おち
落ちる〳〵
八場面がく
ふさ
塞ぎ
おゝくさみ
こ美人ぶ

ちやく　ちやく　ちやく
猪次様の　ヨ　新ベヘ　そそのかされ　ヨ　ハ
えびぞり　ハヘ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ
ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ　ヨ　ハ

第六條

せんとうくさ　　ちゃ
うくさ　　ちゃ
書役どう　　ちゃ
つめまち　　ちゃ
指揮する　　ちゃ
ちゃ　　ちゃ
来八と　　ちゃ
きくさ　　ちゃ
すりこぎ　　ちゃ
ちゃ　　ちゃ
ちゃ　　ちゃ
ちゃ

ヲスベノ
慈善
のどう
化ひ

○

ふと　風与一ト作人の処ヲ
ちょっと　ふうよいち　さくじん　ところ

来ハグ書本屋のこう
きたる　かきほんや

しくちうとうとんとまうらん
ねまきのうづ

拾遺の巻も三編も
しゅうい　かん　さんぺん

元ハ横紙とうり
もと　よこがみ

狂訓亭の大ぜひ
きょうくんてい　おほ

返歌一ツ
へんか

ぐ　ぐ　ぐ　

梅暦餘興

春色辰巳園巻の九終

8N-J"N3" 4"
8h 99
2-9

国立国語研究所
1001142221